

改善計画書

施設名 放課後等デイサービス エンジョイ (担当者 竹下)

(作成年月日 平成 29年 12月 27日作成)

改 善 事 項 等								施設コメント
(施設として持ち続けることとされている点)	1	理念、基本方針をスタッフ一人ひとりが周知徹底し、それに基づいて日々の療育にあたっていく。また契約者や保護者、第三者にも周知してもらえるよう掲示やSNSを利用していく。						会社の理念を軸とした支援を多くの方々に提供できるよう、スタッフ一人ひとりの人間力の向上と情報の発信に今後も努めていきたいと思えます。
	2	事業計画の中長期ビジョンの策定と毎年度確認しながら見直し、修正を行っていく。						
	3	会社の人材育成ルールに基づいた社内研修を実施し、スタッフ一人ひとりの人間力の向上やスキルアップに努め契約者及びその保護者様等に還元できるよう努力していく。						
	4	事業所での出来事や情報をSNSを利用してながら発信を続けていく。						
	5	サービスの計画や見直しを定期的なアセスメントを実施しながら見直し、修正を行い契約者に説明と理解に繋げていく。また、適切な記録と保存も同時に行っていく。						
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
すべからぬこと	1	職員一人ひとりの具体的な課題が把握されていない	社員だけでなくパート、アルバイトスタッフとの面談を行っていく	1ヶ月	H30年1月	H30年2月	事業所の年度計画にパート、アルバイト対象の面談日を設けていく	竹下
	2	地域との交流の機会が少ない	自治会や地域が開催している催し等に積極的に参加していく	2ヶ月	H30年2月	H30年3月	市のHPや所属自治会の回覧板等から催しの情報等を確認し、参加できるものには積極的に申込みをしていく	八木・佐野
	3	質の向上のための取り組みが不十分	療育内容や計画の見直し、修正を定期的に行い、質の向上に繋げていく	1ヶ月	H30年1月	H30年3月	個別支援会議だけでなく全体の療育内容についての会議も定期的の実施し、見直し、修正を行っていく	竹下・寺本・八木・佐野
	4	避難訓練が不定期であり、十分な取組ができていない	避難経路の確認や訓練を定期的の実施	1ヶ月	H30年1月	H30年3月	年間計画に取り入れ、定期的の実施していく	竹下
	5	感染症マニュアルはあるが、周知が不十分	事業所内研修を行い、周知する	1ヶ月	H30年1月	H30年3月	事業所内研修を定期的に行い、保護者にもお便り等で情報提供を行っていく	竹下・寺本
	6	実習生の受入実績がない	実習生受け入れマニュアルの作成	3ヶ月	H30年1月	H30年3月	マニュアルのたたき台を作成し、内容の確認、修正等を会議等で行い受入体制を構築していく	竹下・寺本
工夫すればできること	1	利用者満足の向上に努める	利用者アンケートの回収率をあげる	2ヶ月	H30年2月	H30年3月	アンケート実施にあたって使用する媒体をWEBに変更し、回収率に変化があるか等の集計を取っていく。また、SNSやHPに結果を公開し、アンケートへの参加の促しにも努めていく	竹下
	2	施設としての標準的方法が文書化されていない	マニュアルを作成する	1ヶ月	H30年1月	H30年3月	整備が不十分なマニュアルを作成、修正し、事業所会議等で検討し実装していく	寺本・八木・佐野
	3							
	4							
予算化しないといけないこと	1	十分な備蓄の確保ができていない	備蓄に必要なものの優先順位等を事業所会議等で検討し随時揃えていけるようにしていく	3ヶ月	H30年2月	H30年3月	価格や納期等を調査、確認し予算の確保や購入計画等を事業計画に落とし込んでいく	竹下・寺本
	2							
	3							
	4							
	5							